

鉱害防止工事 事業費の推移(旧松尾鉱山)

年度	①発生源対策費 (百万円)	②新中和処理施設 の建設費 (百万円)	③赤川保全水路 (百万円)	④坑廃水処理費 (百万円)	⑤3m坑対策費 (百万円)
S47	32				
S48	118		102		
S49	150		123		
S50	180		140		
S51	301	55	110		
S52	200	848	84		
S53	86	1,591	101		
S54	60	2,144	142	172	
S55	125	2,619	168	238	
S56	218	2,072	187	485	
S57	861			711	
S58	839			696	
S59	780			651	
S60	700			657	
S61	538			629	
S62	495			639	
S63	453			581	
H1	434			566	
H2	389			586	
H3	328			599	
H4	300			632	
H5	250			644	
H6	239			688	
H7	100			902	
H8	80			687	
H9	49			697	
H10	50			700	
H11	50			666	
H12	150			582	
H13	40			544	
H14	20			528	
H15				543	
H16				511	
H17				506	
H18				595	
H19				528	
H20				536	
H21				567	
H22				576	
H23				538	
H24				520	
H25				559	
H26				593	
H27				538	
H28				767	
H29				592	
H30				682	22
R1				669	153
R2				833	371
R3				790	425
R4				744	410
R5				784	442
合計	8,614	9,329	1,157	27,451	1,823

①発生源対策
約 86 億円

②建設費
約 93 億円

うち 中和処理場
約 62 億円

うち 貯泥ダム
約 31 億円

③赤川保全水路
約 12 億円

④坑廃水処理
約 275 億円

⑤3m坑対策費
約 18 億円

合 計
約 484 億円

[昭和47年度～令和5年度
までの総投資額]

注) ①: 露天掘り跡や堆積場などの整形・覆土・緑化及び排水路の整備など
 ②: 新中和処理施設及び貯泥ダムの建設
 ③: 建設省施工
 ④: 新中和処理施設の維持補修費を含む
 ⑤: 3m坑の埋戻し工事
 なお、合計額が合わない場合があるのは、四捨五入の関係によるものです。